

## 水道管の漏水の早期発見方法は？

まず、漏水の疑いが強い症状としては・・・

- 水まわりの壁や床がいつも濡れている。
- 水道管の埋まっている地面（給水管の立ち上り付近や止水栓付近等）が雨も降らないのにいつも濡れている。またその付近の雪解けが早い。
- 水道水を使っていないのに、蛇口や給水管で「シュー」あるいは「ゴー」という音がしたり振動がある。
- 水の出が悪い。水圧がない。あるいは全く水が出ない。



などの症状があります。この様なときには

- (1) 家の中の全ての蛇口を閉める。
- (2) 水道メーターの蓋を開けて、パイロット（メーター内の銀色の丸い形のもの）が回っていないかを確認する。

ふたを開ける



パイロットが回っていないか確認する

パイロット



少しでもパイロットが回っていれば、メーターの先で漏水していると考えられます。

- (3) 直ぐに指定給水装置工事業者に修理（使用者負担）を依頼して下さい。
- (4) パイロットがぐるぐると回る大きな漏水と分かった時には、一時的に止水栓（元栓）を閉めて水を止める。

漏水は料金増に直結しますので、

時々メーターを調べて早期発見・修繕を心がけましょう

<最後に>

漏水は夏冬構わずに発生します。メーターや止水栓の位置を常に確認し、いつもきれいにしておきましょう。またメーターや止水栓の上に物を置いたり、土砂や雑草で埋もれることの無いようにお願いします。特に冬場の対策は充分にお願いします。